

# AAガイドライン

## 聴覚に障害のあるアルコールクとAAのメッセージを分かち合う

英語版発行：ゼネラル・サービスオフィス(GSO)

日本語翻訳版発行：NPO 法人AA日本ゼネラルサービス(JSO) 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202

AAガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験の分かち合いをまとめたものである。また、このガイドラインには、12 の伝統と評議会(アメリカ/カナダ)の方針が盛り込まれている。主体性の伝統に従い、他のグループまたはAA全体に影響を及ぼす事柄を除いて、グループの決定のほとんどが、そのグループに属するメンバーの良心によってなされる。このガイドラインの目的は、**十分に情報を伝えられたグループの良心**が導き出される手助けをすることである。

\*訳注 アメリカ/カナダのAAの実情に即した内容のため、必ずしも現在の日本のAAに適応するものではありません。

「アクセシビリティ(利用しやすさ)」の問題は、AAに参加することが困難なすべてのアルコールクに当てはまる。AAメンバーは、この共同体の至る所で、回復という共通の結びつきによってその問題を乗り越えるようすを目にしている。

AAのメッセージを伝えるにいくする外的なアクセス上の障壁がどのようなものであれ、グループやメンバーが排他的な考えを持たない限り、さまざまな対応があることに気づくだろう。目標は、すべてのメンバーがグループで活動し、完全に参加できるようにすることである。握手を交わしたり、パンフレットやコーヒーを手渡したりする以上のことが求められる場合があるかもしれない。ミーティングで見かけることが少ないからといって、会場の外で聴覚に障害のあるアルコールクが苦しんでいないとは限らないのだ。

ろう者、難聴者のアルコールクにメッセージを伝える際、そのコミュニケーションの方法はさまざまである。手話は、独自の文法と構文を持ったユニークな言語で、聴覚障害者のコミュニティにおいて主要な伝達方法である。多くのAAグループが、訓練されたプロの手話通訳者を利用して、聴覚に障害のあるメンバーにメッセージを伝えるのに役立てている。筆談やタイピングに加えて、ビデオ通話やメール、携帯ビデオメッセージなど、技術的な代替手段も有効である。しかし、どんなコミュニケーション手段を用いるにしても、もっとも大切なのは「心の言葉」で話すことだ。私たちは新しい人に対して、AAの書籍を勧めたり、他のミーティングを案内したり、電話番号やメールアドレスをたずねて連絡を取ったり、コーヒーやAAのイベントに誘うだろう。同じように、ろう者、難聴者のアルコールクも、聴覚に障害のないメンバーと同じように、なんの問題もなくミーティングに参加する必要がある。

### 手話通訳者

通訳者が必要なときは、聴覚に障害のあるアルコールクが参加するミーティングに手話通訳者を手配

する。多くの地域が、このような経験を積んできている。グループは、地元のアクセシビリティ委員会やインターグループ／セントラルオフィス、ゼネラルサービスを扱う地区委員会や地域委員会、または地元の行政機関に、ミーティングでの手話通訳に関する情報を提供してもらえるかどうか、問い合わせる。聴覚に障害のあるメンバーが、自分で通訳者を連れてくることがあるかもしれない。そのような場合、通訳の費用は自己負担になりがちだが、すべての人に支払う余裕があるわけではないから、継続的に負担してもらおうかどうかは、グループで検討すべき課題である。

聴覚に障害のあるメンバーのために手話通訳者を用意するグループは増加しつつある。さらに、通訳者を付けることによって、聴覚に障害のあるメンバーと障害のないメンバーが、互いに経験と力と希望を分かち合うことができ、コミュニケーションが可能になる。ほとんどのグループが、プロの通訳者に対して、厳格な倫理規定が順守できる人物であること、ミーティングでの守秘義務が保証されることを確認したうえで、ノンアルコールである彼らのクローズドミーティングへの参加に同意している。

AAミーティングやイベントのために通訳者の手配ができるよう、アクセシビリティ委員会やローカルサービスオフィスは、意欲と能力のある有資格通訳者のリストを用意していることが多い。グループに通訳者費用を負担する余裕がなくても、サポートを提供してくれるところはあるだろう。地元のインターグループ／セントラルオフィスが、そのための費用を年間予算に計上しているかもしれないし、地域委員会が特別に基金を設けているかもしれない。また、行政機関が聴覚障害者のために通訳者を派遣していることもある。

どのような準備を行うかについては、ビジネスミーティングで充分に話し合っ導き出されるグループの良心によって決められるべきである。グループが通訳費用を負担するかどうか、セントラルオフィスや専門機関に通訳の派遣を依頼するかどうか、これらについては、事前に完全な合意が必要である。通訳者がいるミーティングでは、始めに通訳者を紹介して、守秘義務が保証されることをミーティングの参加者たちに強調しておくべきである。

金銭に関する恐れが焦点にならないようにすることは重要である。私たちの本来の目的はメッセージを運ぶことであり、「私の責任」で述べられているのは、「誰かが、どこかで助けを求めたら、必ずそこにAAの（愛の）手があるようにしたい」ということだ。これについては、私たち一人ひとりが責任を負っている。

AAメンバーではない通訳者にとって、いくつかの概念（例えば、ハイヤーパワーやアノニミティ、スポンサーシップなど）はAA特有の表現であるため、AAのパンフレットや本を、事前に通訳者に提供しておくとうい。さらに、時間と機会が許すなら、専門家協力委員会（CPC）における対話を参考にしたり、AAを知らない通訳者であれば、具体的にどこかのミーティングの進め方やグループのあり方の概要を説明して、AAに関する疑問に答えたりするのもよいだろう。

## その他のコミュニケーション方法

聴覚に障害のあるメンバーとコミュニケーションを取るために、手話を学ぶAAメンバーが増えている。ろう者や難聴のニューカマーを歓迎したり、長続きするよう励ますことができるくらいに、手話が上達したメンバーもいる。聴覚に障害がある人にとっての第一言語でコミュニケーションを取るために、手話を知っていることや、手話を学ぼうとすることは、グループにとって有益なことである。しかしながら、他の言語と同じように、基本をマスターした人と、専門的な教育を受けた通訳者との間には、大きな差がある。それでも、当然のことながら、手話ができないことを理由に、聴覚に障害のあるアルコールの手助けが妨げられるべきではない。

はじめは、他者を介して気持ちを表現することは困難かもしれないので、コミュニケーションは可能な限り、直接行う。ポイントは、視覚等に訴える方法であり、手を振ったり肩をたたいたりすることが、その人の注意を

引くための合図になる。多くの場合、紙とペン、ホワイトボード、会話を打ち込むためのスマートフォンなどを利用している。ここでも、自分自身のAAでの経験を分かち合うことがもっとも大切だということを忘れてはならない。

手話を知らないAAメンバーも、ビデオ通話やメール、ビデオメッセージなどを使って、聴覚に障害のあるメンバーと日常的にコミュニケーションをとっている。ビデオ通話に使われるシステムは、ビデオ中継サービスとして知られているもので、ろう者や難聴者が、ビデオ電話やそれに類似した技術を使って、聴覚に障害のない人と手話通訳を通じながらリアルタイムでコミュニケーションがとれるようにするビデオ電話コミュニケーションサービスである。このサービスについての情報は、インターネットで見つけることができる。

地域や地区、インターグループ／セントラルオフィスが発行するニューズレターの多くに、聴覚に障害のある人に対応できるグループの情報が掲載されている。ミーティングのリストには、手話通訳の有無を明記すべきである。

## メールやオンラインでの分かち合い

聴覚に障害があっても読み書きに問題がなければ、ローナー／インターナショナルリスト(LIM) (訳注:ローナーはミーティングがない地域に居住するメンバー、インターナショナルリストは長期航海船の業務に従事しているメンバー)のためのサービスが、経験と力と希望を他のアルコールクと分かち合う一つの手段になるだろう。『ローナー／インターナショナルリスト・ミーティング(LIM)』は、GSOに寄せられたLIMメンバーの手紙の抄録を分かち合う、隔月発行の部外秘のニューズレターである。

オンラインのAAミーティングはたくさんあり、手話で録画されたものやパソコンの掲示版など、聴覚に障害のあるメンバーが積極的に利用しているものもある。オンライン・インターグループ([www.aa-intergroup.org](http://www.aa-intergroup.org))は情報源の一つである。地域や地区、インターグループ／セントラルオフィスのウェブサイトから地元のAAと連絡を取ったり、ウェブサイト管理者を通じて、メールやテキストメッセージで交流できる地元メンバーとつながれるかもしれない。さらに詳しい情報は、GSOのアクセシビリティ担当デスクに問い合わせるといい。

## 聴覚に障害のあるアルコールクのためのAA資料

AA資料の一覧表には、聴覚に障害のあるアルコールクと手話通訳者の両方に向けた書籍や視聴覚資料が掲載されている。

『アルコールクス・アノニマス(ビッグブック)』や『12のステップと12の伝統』、パンフレット『特別な支援を必要とするアルコールクのためのAA(未翻訳)』は、ASL(アメリカ手話)が収録されたDVDで提供している。

さらに、『若者向けビデオ』や『ホープ』、その他のAAビデオの選集、評議会で承認されたAAの公共広告は、聴覚に障害があるアルコールクのために字幕付きで提供されている。

## 広報委員会と専門家協力委員会

専門機関からの回答をもとに、GSOが各地の広報委員会と専門家協力委員会に奨励しているのは、ろう者、難聴者、盲ろう者のコミュニティと連携している地元や政府の機関や医療従事者、ソーシャルワーカーなどの専門家グループ、そして、司法機関や法執行機関、手話通訳者養成学校とコンタクトを取ることで

ある。オープン形式のAAミーティングや、AAについての広報イベントを開催し、AA資源の活用に関する情報を提供することもまた、有益であることが分かっている。

聴覚障害者のための学校に、AAに関する資料と情報を提供し、AAミーティングを開催する企画も、広報委員会に提案され続けている。

各地の専門家協力委員会は、聴覚障害者への支援をテーマにした会議の場で、頻繁にAAの書籍を展示している。委員会のサービスに携わる人の中には、このような会議や専門家による会合で、AAの情報と提供可能なサービスについてプレゼンテーションしている人もいる。それら会合のテーマがどのようなものであれ、聴覚に障害のあるアルコールクに向けたパンフレットと情報は必ず提供すべきである。

## AAのイベントと会議

ろう者、難聴者のAAメンバーがAAのイベントに参加する際、主催者に特別な配慮が求められることがある。ある程度の聴力がある人なら、スピーカーの近くに座ってもらえば充分かもしれないが、手話通訳が必要な、ろう者や難聴者、盲ろう者は、視界の中に手話通訳者が見えていなければならない。通訳者は通常、スピーカーの近くに配置されるため、ろう者、難聴者、盲ろう者も、スピーカーの近くに座ってもらう必要がある。

聴覚に障害のあるメンバーが参加する会議やミーティングを企画する際に考慮すべき事柄を以下に挙げる。

- 手話通訳者の需要は高いため、余裕を持って予約しておく。AAと 12 ステップになじみのある通訳者を探すことも提案されている。
- 手話通訳の費用を予算に計上しておく。費用がいくらになるか、1 時間単位か 1 日単位かを把握しておく。複数のワークショップを同時に開催する場合は、手話通訳者の人数にも考慮する。
- 聴覚に障害のあるメンバーに予約席を割り当てるときは、少なくとも2列は確保し、聴覚に障害のあるメンバーが互いに間隔を空けて座り、手話通訳者が視界に入りやすいようにする。専用エリアであることがわかるように、「手話利用者予約席」と掲示しておく。
- イベントのチラシやプログラムには、そのミーティングや集まりが手話通訳付きであることを明記する。
- 手話通訳付きであることを公表したら、その計画は必ず守る。手話通訳付きのイベントに参加するために、聴覚障害者が遠方から移動してくることはよくある。そのイベントでミーティングやワークショップをいくつか同時に開催する場合、それぞれの時間枠に少なくとも 1 人の通訳者を配備できるよう準備する。
- GSOや地元のインターグループ／セントラルオフィスにイベント情報を連絡したり、AAの印刷物に掲載する場合には、そのイベントが手話通訳付きであることを明記し、チラシや申込用紙にも必ず記載しておく。可能なら、テキストメッセージが受信できる電話番号や、アノニミティが守られるメールアドレスを載せるなど、聴覚障害者から問い合わせができるようにしておく。

## まとめ

アクセシビリティに関する業務を担当するGSO職員は、各地のアクセシビリティ委員会が互いにコミュニケーションできるよう、情報提供や調整を行っている。担当職員は、聴覚に障害のあるアルコールクからの

問い合わせや、彼らをサポートするための問い合わせに対して、適切な情報を提供し、各地の委員会が引き継げるようにしている。GSOのアクセシビリティ担当デスクには、電話またはメールで連絡を取ることができる。

各地のミーティングやサービスに関する情報は、インターネットを利用して、地域のインターグループ／セントラルオフィスから得ることができる。

メッセージを伝えた経験について、ぜひ、GSOと分かち合ってもらいたい。「誰かが、どこかで助けを求めたら、必ずそこにAAの(愛の)手があるようにしたい。それは私の責任だ」

GSOが発行する『アクセシビリティ・チェックリスト(未翻訳)』を使って、グループのミーティングについてチェックしてみよう。聴覚に障害のあるアルコールクにメッセージを伝えることに関連するものを以下に抜粋する。

## ミーティング会場

- ☐ 車椅子が通れるスペースを確保して椅子が並べられているか。
- ☐ 照明は適切か。
- ☐ 聴覚に障害のある人たちに配慮した座席のエリアはあるか。すぐ近くに手話通訳者が座るスペースはあるか。
- ☐ 来た人を歓迎し、必要に応じて座席まで案内できる人はいるか。
- ☐ 車椅子や他の移動機器の利用者も、コーヒーを飲むことができるか。
- ☐ あらゆる障害に適したAA書籍が用意されているか。
- ☐ 障害に対応できるミーティングであることを、地元のインターグループ／セントラルオフィスに報告しているか。

アクセシビリティに関することや、ミーティングの準備に関する詳しい情報は、地区や地域のアクセシビリティ委員会、または、インターグループ／セントラルオフィスに問い合わせよう。アクセシビリティに関する情報は、インターネットも有効だろう。AAのウェブサイト [www.aa.org](http://www.aa.org) からも、アクセシビリティに関するサービス資料が入手できる。

1. AAガイドライン『すべてのアルコールクのためのアクセシビリティ(未翻訳)』(MG-16)
2. 『ミーティングとグループのためのアクセシビリティ・チェックリスト(未翻訳)』(SMF-208)
3. 『すべてのアルコールクへのサービス(未翻訳)』(F-107)

NPO 法人 AA日本ゼネラルサービス(JSO)

住所: 112-0012 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202

Tel. 03-3590-5377 Fax. 03-3590-5419

許可なく複写・複製・転載を禁じる